

経営比較分析表（令和3年度決算）

埼玉県 川越市

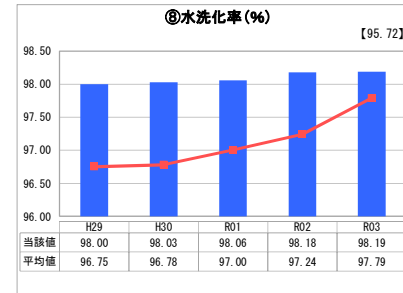
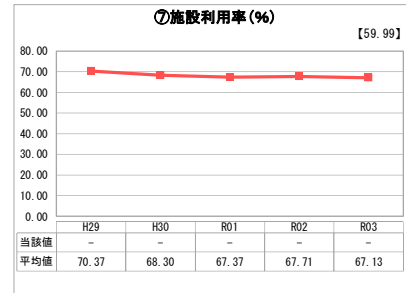
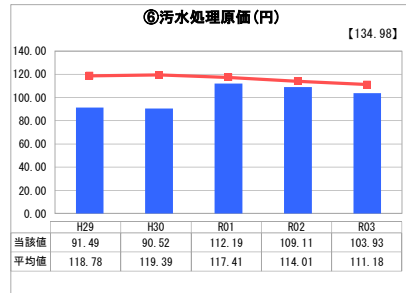
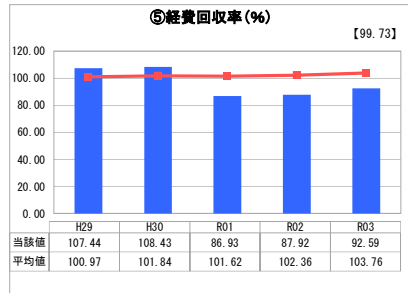
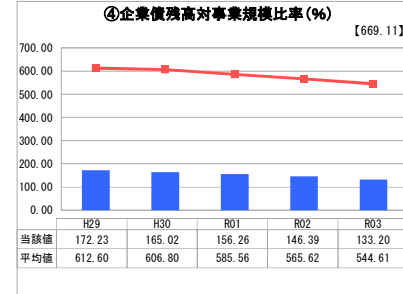
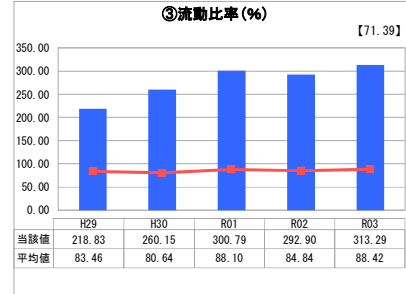
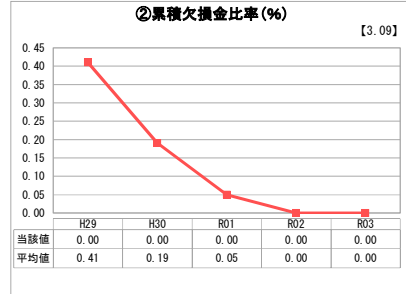
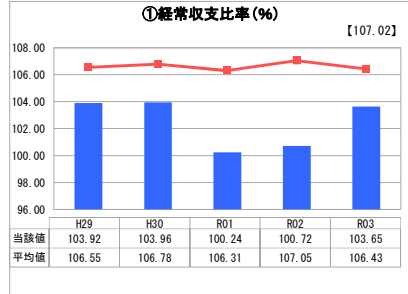
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Ab	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	80.61	88.95	74.04	1,595

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
353,235	109.13	3,236.83
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
313,893	37.80	8,304.05

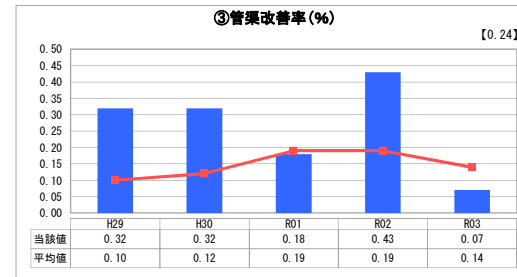
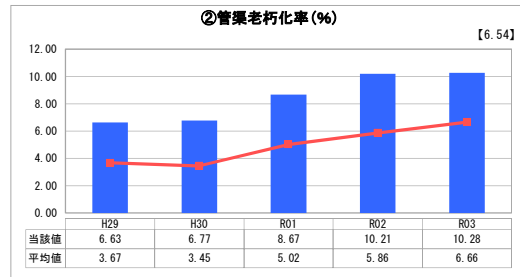
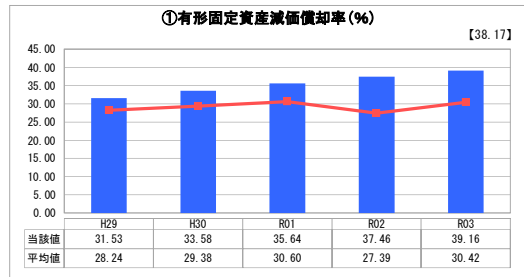
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率
資産減耗費や流域下水道の維持管理費等の減少により数値は上昇しましたが、依然として類似団体より低い水準にあります。引き続き、適正な収入の確保や経費削減に努める必要があります。
- ②累積欠損金比率
類似団体より高い水準を維持しており、短期的な支払能力を確保できています。
- ③流動比率
類似団体より低い水準で推移していますが、今後も世代間負担を考慮した適正な水準について検討が必要です。
- ④企業債残高対事業規模比率
資産減耗費等の減少により数値は上昇しましたが、今後想定される施設の維持管理を見据えた適正な使用料水準の検討や不排水対策等による汚水処理費の縮減に引き続き努める必要があります。
- ⑤経費回収率
降雨量の減少等により、前年度に引き続き数値は減少しました。今後も経費削減に努めるとともに、不排水対策等を推進する必要があります。
- ⑥水洗化率
類似団体をやや上回って推移しており、上昇傾向にあります。資産の有効活用や使用料収入の確保に向け、引き続き水洗化調査等を推進する必要があります。
2. 老朽化の状況について
- ①有形固定資産減価償却率
類似団体より高く、上昇傾向にあります。施設の老朽化が進行しているため、計画的・効果的に償却対象資産の更新等を行う必要があります。
- ②管渠老朽化率
類似団体より高く、上昇傾向にあります。これから更新時期を迎える管渠が多く、老朽化率が更に上昇することが見込まれるため、計画的・効果的に更新等を進めていく必要があります。
- ③管渠改善率
下水道管渠の調査・点検の結果、更生工事等の対象となる管渠が少なかったため、改善率が減少しました。今後も老朽化の進行が見込まれるため、計画的に更新を行い老朽化対策を進めていく必要があります。

全体総括

経営の健全性は概ね保たれていますが、経費回収率の改善や保有資産の老朽化対策が継続的な課題となっています。
本市では不排水の発生による経費回収率の悪化が経営に影響を及ぼしており、また、管渠の耐震化や更生工事などに多額の費用が必要になるなど、経営環境は厳しさを増していくものと想定されます。
今後は、川越市下水道ビジョンや川越市下水道事業経営戦略に基づき、中長期的な視点で施設の適切な維持管理や更新を行うとともに、不排水対策による有収率の向上や将来を見据えた適正な使用料水準等について検討する必要があります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。